

共生・協働の 地域社会づくり

あいわ
NPO法人島おこし21愛和
TEL&FAX 0997(92)1870

住民が住んでよかつたと思える
まちづくり、人づくりを目指して

和泊町のNPO法人島おこし21愛和は、子どもたちを対象にした人づくりやまちづくりなどの活動を行いたいと思う地元有志が集まり、平成18年2月に設立されました。法人名にある「愛和」には、「愛する和泊」という地域に対する思いが込められています。

「何をするにしても、教育や人づくりが一番。子どもたちが、沖永良部島にゆかりのある西郷さんのような大きな人になってほしい。そう思いながら活動しています」と語るのは、前清一理事長。



「えらぶの島歴史探検活動」の講話に熱心に聞き入る子どもたち

法人設立から1年くらいは、道路沿いの荒地を整備して花を植えたり、NPO活動の勉強会などを行っていましたが、当初考えていた青少年健全育成活動などの取り組みには思ったようには踏み出せませんでした。

そんな中、和泊町が研修センターの指定管理者を募集していたことから、法人の目的に合い、具体的な活動につながるものと考え、応募。平成20年4月から同研修施設の指定管理者として指定を受けています。

指定管理業務以外にも、法人独自の活動を発展させる第一歩として、「えらぶの島歴史探検活動」というイベントを平成22年8月に開催。これは、町内の小中学生が島内の史跡巡りを通じて郷土への理解を深めるとともに、宿泊体験で友情を育むことを目的として実施しました。

また、平成22年から開催している「こしやま・あしび祭り」では、トラクターとの綱引き大会や、ちびっ子ジャズダンス、昔遊びの道具の製作などを実施。家庭教育にもつ



「こしやま・あしび祭り」でのトラクターとの綱引き大会

ながるものとして親子で気軽に参加できるプログラムを用意しています。

さらに、平成22年から、ヒカンザクラの開花時期である1月末頃に「さくらまつり」を開催しています。



地域の方々が日頃の活動の成果を発表する場としても親しまれている「さくらまつり」

代表者からひとこと



理事長の前清一さん

研修センターを通じて関わった子どもたちが活躍していることに喜びを感じています。「とにかく前向きに生きる!」が信条です。

これからの催しは、いずれも毎年続けていきます。島おこし21愛和では、人や地域に育てられ支えられてきた恩を少しでも地域に返せるように、今日も模索しながら活動を続けています。

「事前に、子どもからお年寄りまで地域の方を対象に、桜にちなんだ俳句を募集し、上位3句の看板を会場に設置するなどの演出が地域の方々に喜ばれています」と前さん。

共生・協働の地域社会づくりや
NPO法人に関するお問い合わせ先

◎共生・協働推進課(県庁9階) TEL 099(286)2241
◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内) TEL 099(221)6613
関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。